



# 学年だより

令和3年11月18日  
練馬区立石神井西中学校第一学年  
No.23

## ○2学期期末考査が終わりました

広いテスト範囲に苦勞しながらも、2週間前からテスト計画を立てテスト勉強に励みました。テスト一週間前になると休み時間を利用して学習に取り組む人の姿もありました。一方で、直前になって提出物を答えを見ながらやっている人の姿もありました。

どうやって勉強を進めたらいいのかわからず困っている人も多くいたようですが、やはり大切なことは日々の授業と日々の予習・復習です。テスト前だから勉強するのではなく、日々の積み重ねがテストにつながっていきます。わからないものをそのままにしておかないことや毎日の学習習慣を身に付けることなど今後に向けての課題が一人一人にあると思います。点数に一喜一憂するのではなく、どのような取組をして、結果がどうなったかを分析しましょう。

そして、テストは受けて終わりではありません。答案が返却される前にもう一度自分で解き直しをして、わからなかったところを調べ、学習内容を理解できるようにしておきましょう。



## ○ボッチャ講演会・ボッチャ体験を行いました

11月13日(土)オリンピック・パラリンピック教育でボッチャ講演会、ボッチャ体験を実施しました。ユニバーサルボッチャ協会から秋元先生、渡辺先生をお招きし、講演会と競技の体験をしました。オリンピックや世界選手権でのメダル獲得を経験されているお二人の話からは、多くのことを学びました。話の中で、「サポートする側が先に手を貸さない」ことや「自分が何をしてほしいのかをしっかりと伝える」ことの大切さの話がありました。「障がいの有無は関係なく、皆が同じであること」、そして、「支え合い生きていくことがいかに大切か」を学ぶことができました。他にも、「できることを精一杯やること」「諦めずに苦手なことにも取り組むこと」「努力することの大切さ」など私たちのこれからは生かしていくことがたくさんありました。

そして、「日本ほどバリアフリーが整備されている国はない。しかし、日本ほど視線が冷たく感じる国もない」という話の内容を覚えていますか。私たちがこれから歩んでいく未来に向けて、深く考えなければいけない重要な内容だと感じました。

皆さんが書いた感想文には、競技をやってみた楽しさが多く書かれており、ボッチャという競技の魅力を感じることができたようです。それとともに、講演会で秋元先生や渡辺先生が話していた内容に心を動かされた人がとても多くいたことも印象的でした。「障がい」というものへの考え方や関わり方が今回の話を聞いて変わった人が多くいるようです。秋元先生は脳性麻痺を患い、幼い頃から手や足がうまく動かさない中で、必死に皆と同じように生活してきた強い気持ちが伝わってきました。そこには大変な苦勞も努力もあったのだと思います。だからこそ、一言一言に説得力があり、聞いていて心動かされるものがありました。今回の貴重な経験がこれからの皆さんの生活に少しでも生かされ、心豊かになっていくことを期待しています。



## ○明日は校外学習です

皆さんが楽しみにしていた校外学習。いよいよ明日です。本で行った前日指導の内容をもう一度確認し、班行動計画や持ち物の見直しをしましょう。校外での活動になりますので、公共の場におけるマナーをしっかりと考え行動してください。予定通りに行動することも大切ですが、予定外のことへの対応力も大切です。皆で決めた校外学習におけるルールをしっかりと守り、班長を中心に、皆で協力して一日を過ごせることを期待しています。

★当日の欠席、遅刻の連絡、また、当日の緊急時の連絡は本部携帯へお願いします。

**【 本部1 : 070-1758-9068 / 本部2 : 070-1758-9069 】**

## ○みんなの活躍



「自分で作る朝ごはんコンクール」において、1年生からは小川麻央さん野嶋絵美さんが銅賞を受賞しました。4,637 作品の応募の中からの入賞です。おめでとうございます。

11月19日(金)～11月30日(火)まで練馬区役所本庁舎1F アトリウムに展示されています。

## ○来週の予定

22日(月)	朝礼(8:25体育館整列完了)
23日(祝)	勤労感謝の日
24日(水)	各種委員会
25日(木)	
26日(金)	2年生 校外学習



